



自然科学×現代美術 リサーチとアウトリーチによる イラナ・ハルペリン:ロックサイクル(ヤマゲチ) —ヤマゲチとスコットランドをつなぐ領域横断プロジェクト—

山口大学教育学部 教授 中野 良寿

本企画は、地質学と現代美術の境界をまたぐ活動をしているアーティスト、イラナ・ハルペリン氏（1973年ニューヨーク生まれ、スコットランド・グラスゴー在住）の活動に注目し、スコットランドを拠点に活動する日本人インディペンデントキュレーターのメイボン尚子氏（インターナショナルキュレーター/プロジェクトリエゾン www.wagonart.org）のキュレーションで、リサーチ及び作品発表を山口大学秋吉台アカデミックセンターの主催で2018年度から2019年度にかけて実施したものです。本企画の端緒となったのは2018年5月にハルペリン氏が秋吉台国際芸術村のレジデンスフェローとして行なった2週間のリサーチレジデンス（助成：Creative Scotland, Hope Scott Trust）での成果でした。その成果を基盤に、山口とスコットランドをつなぐアート・サイエンスプロジェクトとして始まり、山口大学秋吉台アカデミックセンターの企画として受け継いだものです。

本事業は地質学における岩石の循環と相関を示す「ロックサイクル」にインスピレーションを受けた3章構成となっています。第1章「生命 - 活動」（2019年2月、フィールドリサーチ、試作品作り、アウトリーチ開催-美祢市青嶺高校）；第2章「堆積岩 - 蓄積/石化」（2019/2020年、作品制作、山口で展覧会とアウトリーチ開催）；第3章「変成岩 - 変化」（2020/2021年、スコットランドで展覧会とアウトリーチ開催-コロナ禍により延期）。美術や科学をはじめとする多角的なアプローチでフィールドリサーチを実施、山口に特有な風景ならびに素材を用いて新作を制作、山口（秋吉台国際芸術村、秋吉台科学博物館、Mine秋吉台ジオパークセンター「karstar（カルスター）」）で発表しました。また、まとめとしてイギリスのスコットランド（Pier Arts Centre）で展覧会を開催予定です。（2020年9月に開催予定でしたがコロナ禍により延期されました。）

これにより日本地質百選にも選定されたカルスト台地「秋吉台」や日本最大規模の鍾乳洞「秋芳洞」が位置する山口の地質学的重要性を科学の目線から再発見するだけでなく、いかにそれが地域の人々の日常生活や文化と深く関係し合っているのかを美術の詩的な目線から浮かび上がらせることを狙いとしました。美術と科学、日本とスコットランド/英国、言語や文化の違い、などのボーダーを超え、様々な領域やバックグラウンドを持つ人と関わりあいながら議論を深め、それを未来に向け、広く発信・共有していくことを目指しました。

山口大学秋吉台アカデミックセンターは上記のプロジェクトに関して2019年2月にリサーチ及びアーティストトーク、アウトリーチ、ワークショップを行い、さらに2019年10月、11月にはそれらのリサーチ及び制作を踏まえた作品展示及びアーティストトークを行ないました。展示会場は山口大学秋吉台アカデミックセンターがある美祢市科学博物館内の展示室及び同市にある秋吉台国際芸術村内のギャラリー、Mine秋吉台ジオパークセンター「karstar（カルスター）」にて展示を行い、地元を始め国際的にも多くの反響を得ることができました。



シンポジウムポスター



アーティストトーク
(イラナ・ハルペリン氏)

関連イベント

- 2019年10月13日（日）
美祢市立秋吉台科学博物館、セミナールーム
- ・基調講演：イラナ・ハルペリンによるアーティストトーク
 - ・講演：田中和広（山口大学 副学長）
 - ・講演：中野良寿（山口大学 教育学部教授）
 - ・ワークショップ：鈴木啓二郎（現代美術家）によるフィールド・ワークショップ

展覧会

- 美祢市立秋吉台科学博物館
2019年10月12日（土）- 11月4日（月）
- 秋吉台国際芸術村
2019年10月12日（土）- 10月20日（日）
- Mine秋吉台ジオパークセンター「Karstar（カルスター）」
2019年10月12日（土）- 10月20日（日）

主催:

- ・山口大学秋吉台アカデミックセンター
- ・山口大学教育学部中野良寿研究室（N3 ART Lab）

後援:美祢市

キュレーター:メイボン尚子(www.wagonart.org)



美祢市青嶺高校（2019年2月）



田中副学長による講演



フィールド・ワークショップ（鈴木啓二郎氏）



Karstar（カルスター）の展示作品